

棒面丸、マダイ 資源の増大へ

神奈川県栽培協に
10万円を寄付

【三浦】神奈川県三浦市松輪の遊漁船・棒面丸（鈴木千春社長）は24日、「ラブーラブーマダイ2015棒面丸」で成績優秀だった人の表彰式を行った。

また、昨年積み立てた遊漁者の参加費の一部、10万円をマダイ資源増大のため、神奈川県栽培漁業協会に寄付した。

優勝したのは6・6キロのマダイを釣り上げた東京都大田区の伊藤和彦氏で、受賞者を代表して今井利為県栽培協専務に寄

付を手渡した。

今井専務は「昨年、協会は72万尾のマダイ稚魚を東京湾と相模湾に放流

した。今年は80万尾のマ

ダイ、カサゴ、ヒラメ、カワハギ種苗を放流する計画している。この寄付

はマダイの資源安定・増大に役立てます。今後とも協力を」などと謝辞を述べた。

同社は、10年以上前からマダイ釣りイベントを実施し、参加した釣り人に参加費として一回50



0円を出してもらい、釣り竿、電動リール、クーラーボックスなどを賞品として贈るほか、参加費の一部を積み立てて同協会に寄付している。

寄付を受ける
今井専務(左)